

H28年度（2016年度）活動実績

はじめに 「豊島棚田くらぶ」としての活動2年目となり、初めての活動体験者や若者の参加など会員も徐々に増えつつあり、年間活動回数は過去最多の23回、延参加者数は205名の多数の方々の協力を得ることができた。年間の活動、出来事の概要は以下のとおりである。なお、前身の豊島ネット・棚田くらぶが十数年にわたり関わってきた豊島問題は、今年度末（2017年3月）に豊島から廃棄物搬出が終了し一区切りの年となった。

1. **棚田の保全・景観** 最上段畑、三角地畑を含み棚田および田んぼは年度を通しほぼ良好な景観を確保できた。またレンコン畑は地元島民の協力もあり畑全面の除草の後、水張りし、レンコン池として様変わりとなった。なお当くらぶの管理する棚田に隣接する下側の棚田は、雑草に覆われ景観を損ね残念な状態にある。これに対しては管理外の棚田ではあるものの、当くらぶから積極的に働きかけ、除草・草刈りに協力するなどし、「唐櫃の清水」からの棚田の景観確保に努めることが必要である。

2. 主な作物栽培

(1) **稲作** 例年と同様に6月田植え、草取り3回実施。手製の熊手と手押しの除草機をフル稼働し、炎天下の作業ではあるが、若手女性の参加もあり3回とも田んぼ全面の草取りができた。しかしながら収穫量は例年より大幅に少ない150kgとなった。田んぼの山側の湧水により稲刈り時期まで半分ほどぬかるんだ状態が続いたこと、事前の堆肥バラマキが全面に行き渡らず不十分であったことなどからと思われる。

(2) **蕎麦** 作付畑3枚のうち1枚は水はけが悪くほとんど成長しなかった。、玄蕎麦14kgほどの少ない収穫となったが、12月の収穫祭には手打ち蕎麦にして十分に楽しむことができた。

(3) **小麦** 昨年11月に冬季の緑化を目指し、香川県のブランド品種“さぬきの夢2009”の種まきをし、6月には小麦粉20Kgが収穫できた。

(4) **レンコン** H28.3月上段棚田の湿地帯に種レンコンを植え付けをしたが、成長したのは約半数ほどにとどまった。現状、棚田湿地帯の緑化策の拡大とまではいかないが、地元島民の協力もありレンコン池として整備しつつあり今後、良い景観確保が期待できる。

(5) **綿花** 初めて栽培に取り組み、白い綿花は景観確保に一役買うことができ、また次年度以降の種として十分な量が収穫できた。今後は綿花栽培畑の拡大を図り、収穫した綿を紡ぎ糸にし、小さな織物

を製作、地元島民とも協調して、豊島の特産品にすべく技術の習得に努めることとする。

(6) **花の栽培** ひまわり、コスモス、マリーゴールド、バジル、菜の花、スイセン、レンゲ、バラなど。特に六角庵前の三角地畑は入念な手入れが行き届き、綿花、スイセン、バジルなどの植栽により季節感のある景観が得られた。

(7) **その他作物** ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、玉ねぎ、ニンニクなど栽培。

3. **豊島の活動回数、参加者数** 年度計画の主な活動である田植え、稲刈り作業などのほかに少人数での作業となった畔の草刈り、水路補修、スイセンの植付け作業などにより、過去最多の活動回数23回となり、延参加者数は205名となった。

4. その他特記事項

(1) **収穫物の販売** 会員で分かち合い、残りは販売し運営費に充当した。蕎麦粉（8kg）：高松市内の蕎麦祭りへ提供。小麦粉（16kg）：豊島島内のパン工房へ提供。ジャガイモ：島内食堂へ提供、および会員の買い上げ。お米は収穫量が少なく販売に至らなかった。

(2) **水路補修** 前年度から懸案となっていた田んぼ山側の水路補修は土嚢袋の設置が計画の半分ほどにとどまり、更なる努力が必要である。

(3) **電気柵設置拡充（イノシシ被害対策）** 今年度は畑1枚分の拡充にとどまった。次年度以降、棚田下段方向に拡充していく。なお、六角庵敷地の石垣周りもイノシシ被害にあったため電気柵で囲った。

(4) **収穫祭他** 12月に収穫祭を開催した。収穫した蕎麦で手打ちの盛り蕎麦およびトン汁を、島内住民、小豆島からの参加者もあり共々楽しむことができた。また9月の懇親会、1月の新年会などを開催し意見交換の場とした。